

第1章

基本構想



KOSAI 2040

1

湖西の将来の理想の姿を明確にし、着実に実現していくため、2040年の理想の姿「KOSAI 2040」を示します。

1. 安心して暮らすことができるまち

都市基盤が整えられ災害に強いまちづくりが進み、地域住民の災害への意識も高く、安心して暮らすことができるまちになっています。

また、超高齢社会の中でも、地域ぐるみでの助け合いができており、地域医療体制や公共交通も充実し、誰もが不自由なく生活しています。

2. 結婚・出産・子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまち

結婚・出産・育児の相談・サポートや、こどもを連れて遊びにいける場所の充実、待機児童・入所待ち児童ゼロなど安心してこどもを出産し、育てる環境があります。

また、将来を担うこどもたちが学び、育つ教育環境も充実しています。

そして、性別、年齢、国籍を問わず、誰もがいきいきと活躍できるまちとしての風土が醸成されています。

3. 稼ぐ力に満ち、安心して働けるまち

郷土の偉人、豊田佐吉翁のチャレンジ精神を受け継ぎ、モノづくりのまちとして全国に名を知られています。モノづくりは、ひとづくり。モノづくりを支える人材が次々と育まれています。

工業とともに、農業、漁業、商業も盛んで、地域の活力や賑わい、多様な働く場を生み出しています。

4. 新たなつながりを築き、新しいひとの流れがあるまち

湖西に住むひと、訪れるひと、生まれ育ったひとや様々な国籍のひと、こども、おとななど、多くのひとに湖西の魅力が認知されています。

これらのつながりがさらに広がり、絆が生まれ、地域に関わり、結びつくひとが増えることで移住・定住へとつながっています。

それぞれの理想への考え方

1. 安全・安心なまちづくり

- ① まちづくりを自分ごととして考え、防災・防犯を意識した安全・安心なわがまちを実現します。
- ② 常に次世代の公共交通を意識し、暮らしの利便性を確保します。

2. 誰もが活躍する

- ① 出産・子育てのサポートを整え、こどもにとっても学びよし、遊びよしの環境を整えます。
- ② こどもが次代の担い手として輝ける人材育成を行います。
- ③ 若者・女性・高齢者・外国人がいきいきと暮らすことができるよう、活躍・活動の場を増やします。

3. 稼ぐ力をつくる

- ① 市民がより豊かな生活を送れるよう、市内で資金が循環する仕組みを構築します。
- ② 駅周辺の賑わい創出や地域資源の活用により、市外からも資金を獲得できる仕組みを構築します。
- ③ 産業拠点を集積し、企業立地を促進します。

4. 新しいひとの流れをつくる

- ① 湖西の魅力発信に努め、湖西とつながるひとを増やし、そのつながりを育み、湖西のファンを増やし関係人口や交流人口を拡大します。
- ② 社会情勢や産業構造の変革を的確に捉え、湖西市にとって有効な「ひと」と「ひと」とのつながりをつくります。
- ③ 空き家や未利用地の活用を促進する仕組みを構築します。

2

Road to KOSAI 2040

今後、加速的に進む人口減少、少子高齢化を克服し、「KOSAI 2040」を目指し、次のキャッチフレーズのもと、湖西市の持続可能な発展につながるまちづくりを進めます。

「ひと・自然・業(わざ)」が つながり
未来へ続く わがまち KOSAI



湖西フォトコンテスト入賞作品他

込められた想い

湖西は、産業、自然、文化、全てのバランスが良いまちです。

風光明媚な浜名湖、遠州灘、湖西連峰に囲まれ、うなぎ、カキなどの水産物にも恵まれ、釣りやマリンスポーツ、トレッキング等、多様なレジャーを楽しむことができます。豊かな自然は、人々に安らぎと潤いを与え、日常生活に密着しています。

また、古来から、東海道の要衝としてまちが盛え、ひとのつながりも強く、地域の祭りやイベントは大いに盛り上がります。

中心産業は自動車関連産業で、製造品出荷額は全国でもトップクラスです。モノづくり産業の躍進は、郷土の偉人豊田佐吉翁のモノづくりの精神が原点となっており、その精神は脈々と受け継がれています。

一方、田園風景が広がる地域もあり、畜産や花卉栽培など農業も盛んです。

工業における「業」、商業における「業」、農業における「業」、漁業における「業」、地域文化の「業」など先人から引き継いだ「業」が湖西には数多くあります。

「常に時流に先んずべし。」「障子を開けてみよ、外は広いぞ。」

これらの「自然」、「業」を次世代に伝承するとともに、先を見据えた新しい考え方、生活様式等の変化を的確に捉え、将来に向け持続的に発展していくには、「ひと」との関わりが欠かせません。また、未来にはばたく「ひと」が育ち、成長する機会を絶やしてはなりません。

湖西の「ひと」、「自然」、「業」が相互に、時には柔軟に、時には強くつながり、相乗効果をもたらしていくように。

そして、誰もが愛着を持てるまちにしたい、そんな想いを込めました。



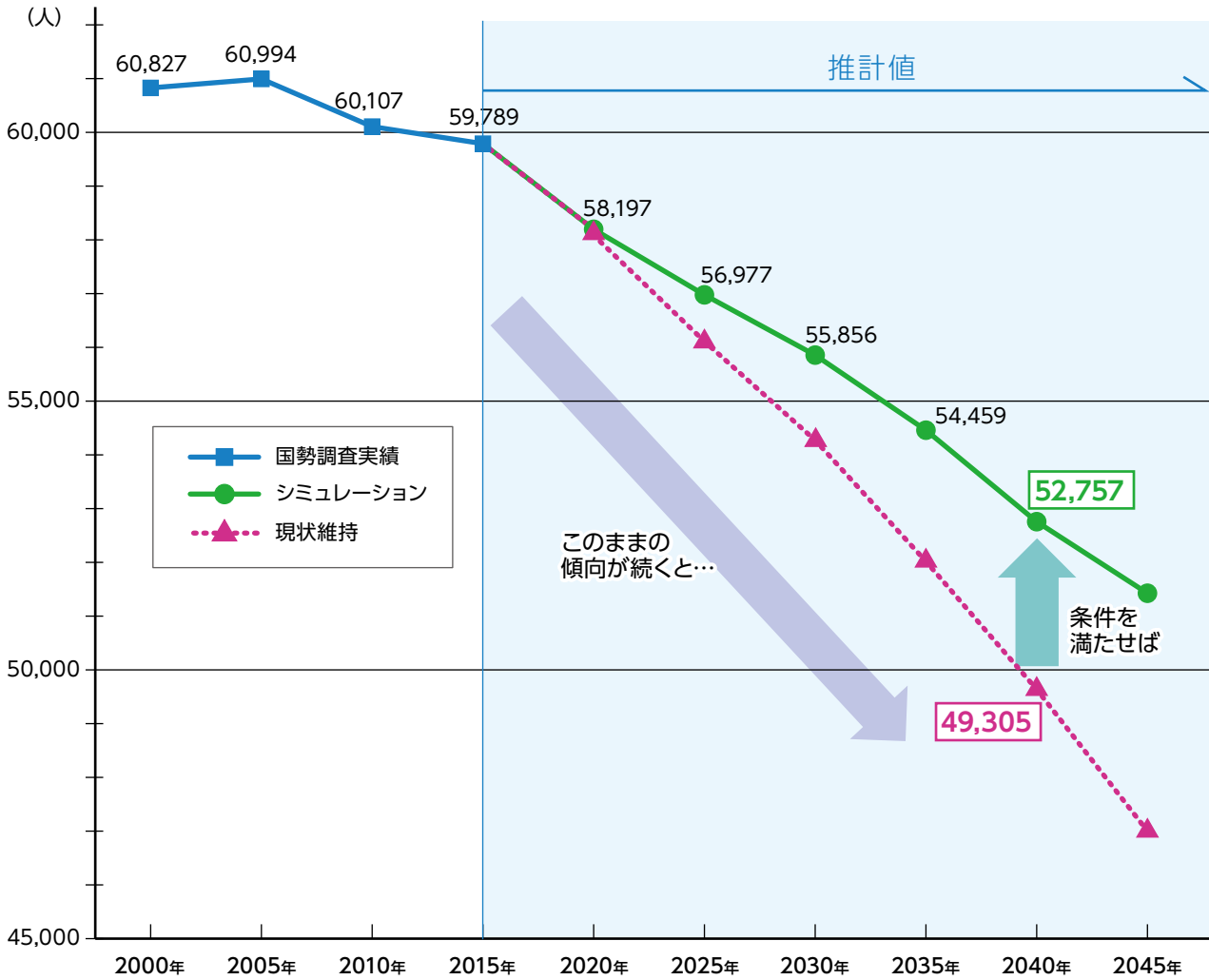
3

将来人口ビジョン

人口減少、少子高齢化が進展する社会において、湖西市が将来にわたり、活力あるまちとして持続可能な発展を遂げるには、人口減少を抑制することが最も重要となります。

現状の推移から条件を変更したシミュレーションにより将来人口を展望します。

■ 将来人口の展望 (国勢調査を基準とした人口推計)



現状推移から
変更した条件

- 毎年の社会増減をプラスに! (ファミリー層の転入)
- 希望出生率の1.8をかなえる!

希望出生率とは、既婚者のこども予定、独身者の結婚希望や希望こども数をかなえた場合に想定される出生率
 $(有配偶者割合 \times 夫婦の予定こども数 + 独身者割合 \times 独身者結婚希望割合 \times 独身者希望こども数) \times 離婚別効果$
 $(32.0\% \times 2.01人 + 68.0\% \times 89.3\% \times 2.02人) \times 0.0955 \approx 1.8$

社人研「出生動向基本調査」(平成27年)より

現状推移

(再掲)

2015年以降の住民基本台帳の推移を国勢調査の人口に反映した市独自の推計です。出生数は合計特殊出生率が1.45で推移すると仮定し、社会増減は近年の減少傾向から算定しています。

	2015→2020年	2020→2025年	2025→2030年	2030→2035年	2035→2040年
社会増減(人)	▲502	▲432	▲413	▲371	▲278
出生数(人) (合計特殊出生率)	1,929 (1.45)	1,853 (1.45)	1,856 (1.45)	1,782 (1.45)	1,615 (1.45)
人口増減(人)	▲1,592	▲1,878	▲2,077	▲2,338	▲2,599
推計人口(人)	58,197	56,319	54,242	51,904	49,305
0～14歳	6,989	6,202	5,609	5,463	5,226
15～64歳	34,715	33,289	31,473	28,857	25,872
65歳以上	16,493	16,828	17,160	17,584	18,207

シミュレーション

社会増減は転入超過に進み、2030→2035年にはプラスとなります。希望出生率をかなえ、合計特殊出生率は2030年までに1.80となります。

	2020→2025年	2025→2030年	2030→2035年	2035→2040年
社会増減(人) (市独自推計からの増加数)	▲32 (+400)	▲24 (+400)	11 (+400)	73 (+400)
出生数(人) (合計特殊出生率)	2,111 (1.60)	2,422 (1.80)	2,345 (1.80)	2,153 (1.80)
人口増減(人)	▲1,220	▲1,121	▲1,397	▲1,702
推計人口(人)	56,977	55,856	54,459	52,757
0～14歳	6,550	6,611	7,023	7,064
15～64歳	33,599	32,085	29,852	27,486
65歳以上	16,828	17,160	17,584	18,207

2040年は高齢人口(65歳以上の人口)の数がピークになりますが、各期間に着実に年少人口(0～14歳の人口)、生産年齢人口(15～64歳の人口)を増加させることができれば、高齢化率が低下し、将来にわたり人口減少に歯止めがかかります。

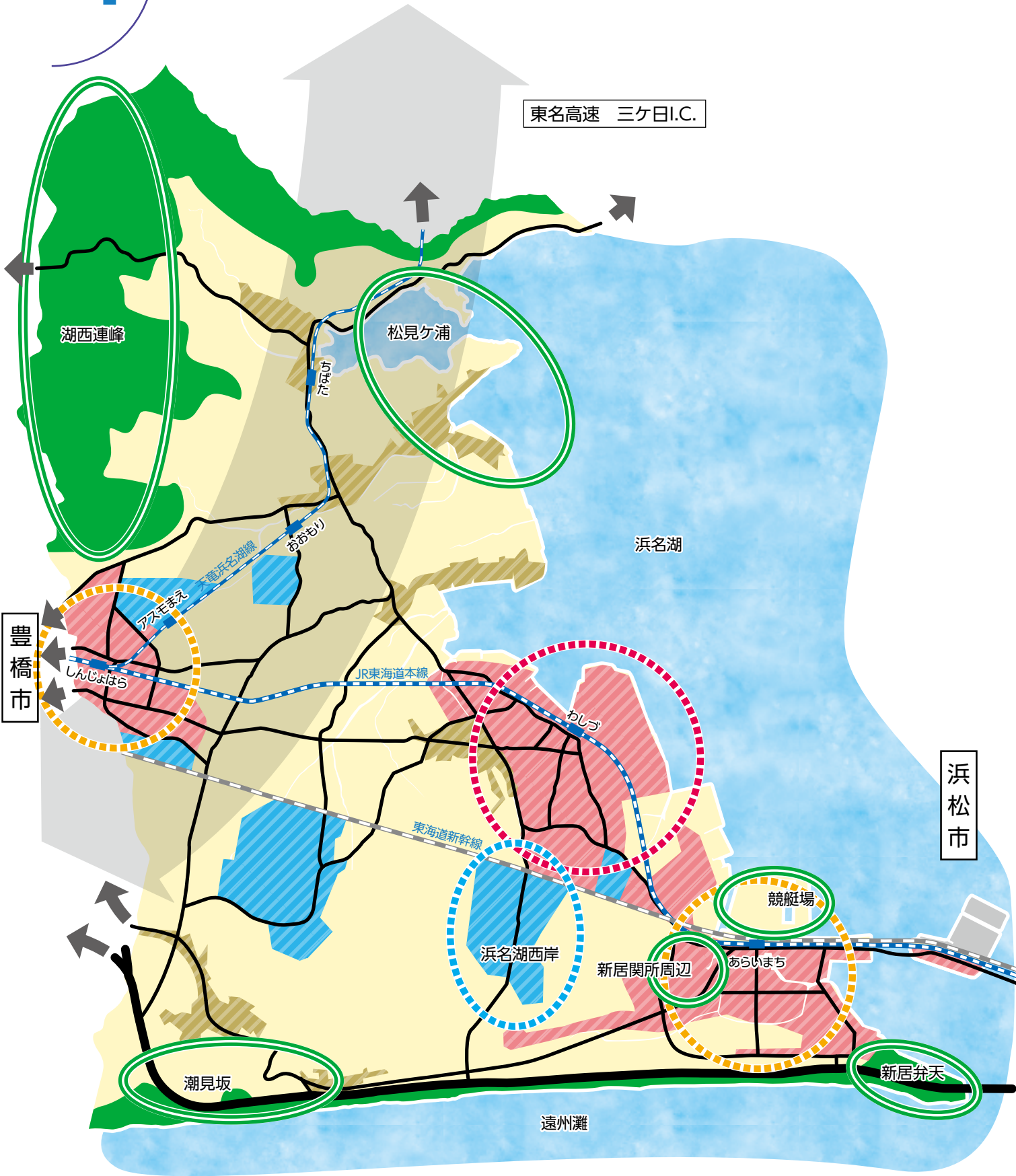


2040年の将来人口 **52,757人**

4

土地利用構想

湖西市の将来土地利用図



序章

第1章

第2章

策定経過

■ 将来土地利用図の説明

都市拠点

鷺津市街地の中心部を、市民の生活を支える都市機能が集約され、様々な活動や交流の中心となる都市拠点とします。

地域拠点

新所原市街地、新居市街地の中心部を、地域における生活、活動、交流の中心となる地域拠点とします。

新・産業拠点

工業地のうち、新たな雇用を創出し、産業の発展を促進する浜名湖西岸土地区画整理事業を中心とした地区を新・産業拠点とします。

観光交流拠点

湖西連峰、松見ヶ浦、潮見坂、新居関所周辺、新居弁天、競艇場地区を自然環境や歴史資源をいかした観光、交流の場として、市民や市を訪れる人に快適な時間が過ごせる観光交流拠点とします。

市街地エリア

東海道本線の鷺津、新所原、新居町の駅を中心とした主に住宅、商業の用途の市街地エリア。

主要集落エリア

大知波、入出・太田、新所、古見・吉美、白須賀の大規模既存集落地のエリア。

工業エリア

工業を中心として活用していくエリア。

自然共生エリア

農業を中心とした用途で、自然と共生して生活していくエリア。

自然保全エリア

恵まれた自然環境を維持・保全するエリア。

主要道路

拠点間を結ぶ主な道路や市民生活に必要な主な道路。

鉄道

市民の公共交通であり、駅を中心としたまちづくりを行います。

構想道路

ルート検討中の浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)について、IC及びその周辺の土地利用について検討します。

■ 土地利用の基本方針

■ ひとの交流

- 快適で機能的な住環境を整えます。
- 自然災害に対応した安心な住環境を整えます。
- 拠点間の連携、主要集落エリアのアクセスや利便性の向上のため、主要道路の整備や維持管理を優先的に行います。

■ 自然との共生

- 浜名湖、遠州灘、湖西連峰など水・緑を守り、将来にわたり自然と共生していきます。
- 自然景観に配慮したまちづくりを進めます。
- 自然と共生しつつ、湖西の資源とすべく、その自然をさらに享受できるまちづくりを進めます。

■ 業(わざ)の創造

- 産業の需要に応えるよう、必要なエリアを確保します。
- 効率的な農地の集積を図り、優良農地を保全します。

具体的な方針については、次の計画により示します。

- 湖西市都市計画マスタープラン
- 湖西市立地適正化計画
- 湖西市農業振興地域整備計画
- 湖西市観光基本計画
- 湖西市環境基本計画

